

第66回 福島県身体障がい者福祉大会受賞者名簿

(敬称略)

◆自立更生者表彰 (17名)

桑折町	阿部健治	古殿町	岡部清一
伊達市	清水正登	石川町	阿部義雄
伊達市	深谷孝子	棚倉町	高宮良明
川俣町	菅野英一	猪苗代町	高橋謙一
二本松市	紺野文男	西会津町	五十嵐ミサ子
二本松市	渡辺操子	喜多方市	関本知子
本宮市	橋本弘子	新地町	佐藤ふみ子
田村市	矢吹満	相馬市	佐藤智英
田村市	佐藤雄吉		

◆更生援護功労者表彰 (17名)

桑折町	大澤サイ子	古殿町	吉住利一
伊達市	後藤勝雄	平田村	本多節子
伊達市	三浦孝一	棚倉町	井上房男
二本松市	根本和志	磐梯町	遠藤力雄
二本松市	桑原文明	南会津町	阿久津文好
本宮市	渡邊ミキ子	西会津町	秦好央

喜多方市 遠藤善喜
北塩原村 井上憲
南相馬市 藤田和子

飯館村 阿部サキコ
相馬市 佐藤理紀

◆加盟団体運営協力者感謝 (17名)

桑折町 松田茂
伊達市 井上トシエ
伊達市 大河原裕子
二本松市 関和彦
二本松市 尾形和男
本宮市 川名正勝
田村市 佐藤孝吉
浅川町 小野勇吉
玉川村 国井文雄

塙町 小峰由久
猪苗代町 小檜山行則
南会津町 室井英彦
西会津町 仲川文夫
喜多方市 山口トキ子
北塩原村 佐藤勲
南相馬市 高倉邦義
新地町 菅野貞則

大会スローガン

- ◎ ユニバーサルデザイン2020行動計画の完全実施を求めよう
- ◎ 障害者差別解消法の理解を深め啓発を図ろう
- ◎ 被災障がい者のおもいに添った支援を継続しよう

大会宣言

阿武隈高原の中央に位置し、緑豊かな自然にいだかれた高原都市ここ田村市において、県内各地から多くの仲間と関係者が一堂に会し、第66回福島県身体障がい者福祉大会を開催できたことは、まことに喜びに堪えない。

本大会に寄せられた各関係機関、団体をはじめ広く県民の方々のご支援とご協力に対し、改めて深く感謝の意を表したい。

今年の3月末に障がい者の自立や社会参加を支援する様々な施策の土台となる2018年度から5年間の「第4次障害者基本計画」が閣議決定された。この基本計画には2020年の東京パラリンピックを通じて実現を目指す共生社会の姿について広く発信を行い、「心のバリアフリー」への理解を深め、社会全体で推進していくことなどが盛り込まれ、いままで活動してきたわれわれの声が具現化されたものと理解する。

また、平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、今後、県民の理解のもと、差別解消に向けた具体的な取り組みが実施され、加えて私たち障がい者を含めた県民一人ひとりの自発的な取り組みがなされるとともに、福島県の実情に即した「障がい者差別禁止条例」が制定されることを求める。

さらに、東日本大震災により長期避難生活を過ごしている県内外の障がい者が、一日も早く、生きがいのある生活を取り戻せるよう引き続き支援活動を展開していく。

このような状況にあっても、県内の障がい者一人ひとりが自立への誇りと社会参加への意欲を強く持ち、福島県身体障がい者福祉協会のもとに一致団結し、ともに生き・ともに助けあう明るい社会の実現のため、力強く行動することを誓い、ここに宣言する。

平成30年10月31日

第66回福島県身体障がい者福祉大会

大会決議

身体障がい者の自立と社会参加を促進し、「完全参加と平等」の実現を図るとともに被災加盟団体の再建及び被災会員の支援に万全を期するため、第66回福島県身体障がい者福祉大会の開催に当たり、参加者総意のもとに次の事項を決議し、その実現に努める。

要望事項

- 1 心のバリアフリーの推進を図ることを要望する。
- 2 障がい者差別をなくすための条例の制定を要望する。
- 3 地域の相談支援体制に身体障がい者相談員を活用させることを要望する。
- 4 被災加盟団体の再建と被災会員の支援に関する制度の創設を要望する。

努力事項

- 1 すべての身体障がい者が当協会に加入するよう促すとともに、各加盟団体において活性化の方策を具現化し、会員相互の親睦を図りつつ、組織及び財政基盤の拡充に努力する。
- 2 身体障がい者みずからが社会の構成員としての自覚を持ち、持てる能力を十分活用し、共生社会の実現に向けて努力する。

以上決議する。

平成30年10月31日

第66回福島県身体障がい者福祉大会